



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,140	△0.8	13	△94.5	38	△86.7	31	△84.7
2026年3月期第1四半期	6,186	△3.6	245	△7.0	289	△7.4	205	433.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 474百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △186百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.58	—
2026年3月期第1四半期	62.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	36,547	19,663	43.0	4,792.69
2026年3月期	35,885	19,352	43.2	4,728.16

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 15,731百万円 2026年3月期 15,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,480	7.0	640	3.4	570	△14.8	400	△15.0	121.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	3,362,163株	2026年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	79,867株	2026年3月期	79,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	3,282,296株	2026年3月期1Q	3,269,852株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、経済活動の緩やかな回復を見せたものの、物価高騰による個人消費の落ち込みやアメリカの通商政策の動向、ウクライナや中東情勢の長期化など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『“Kai（甲斐・解）”を見出す』をキーワードに、①省人化、②脱炭素社会に向けて、③人材育成、の3点を重点課題に設定した、第8次3カ年計画を2025年4月にスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化を目指して、製品の販売価格是正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 61億4千万円（前年同期比 0.8%減）、営業利益 1千3百万円（前年同期比 94.5%減）、経常利益 3千8百万円（前年同期比 86.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 3千1百万円（前年同期比 84.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、鍛造向け大型鋳型の需要が好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび電炉メーカー向け案件が好調であった一方で、輸出案件の需要が低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。自動車用プレス金型鋳物は、国内カーメーカーの新型開発計画の動きが依然として低調で、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械向けの需要が引き続き好調でしたが、電気自動車関連のプレス機向けの需要が低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。小型鋳物は、機械・上水関係向けが新商品の受注により好調であった一方で、土木商材向けが工事の遅延の影響を受けて低調に推移し、売上高は、前年同期を下回りました。デンスバーは、国内において建設機械をはじめとした産業機械向け需要が回復基調となったことに加え、輸出案件も好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の悪化や競合他社との競争激化の影響で、売上高は、前年同期を下回りました。連結子会社である株式会社小口合金鋳造所は、FPD露光装置向けの需要は低調でしたが、建設機械部品向けが好調であったことに加え、新規開拓にも注力した結果、売上高は、前年同期並みで推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、54億7千2百万円（前年同期比 3.8%減）、セグメント利益 1億1百万円（前年同期比 69.6%減）となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、徳島県海部郡の大型案件をはじめとする建設案件の工事が進捗し、売上高は、前年同期を大きく上回りました。送風機は、主要顧客先の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体製造装置向けの需要が回復し、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、3億8千5百万円（前年同期比 26.3%増）、セグメント損失 △8千万円（前年同期 セグメント損失△4千2百万円）となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、主要顧客先の需要が伸び悩む中、銅建値の高騰に連動して販売価格が上昇したことにより、売上高は、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当事業の売上高は、2億7千5百万円（前年同期比 44.9%増）、セグメント利益 3千1百万円（前年同期比 509.3%増）となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、6百万円（前年同期比 55.0%増）、セグメント損失 △2百万円（前年同期 セグメント損失△1百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、207億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千1百万円増加いたしました。これは、主として電子記録債権が3億9千7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3億6百万円減少した一方、現金及び預金が3億6千1百万円、商品及び製品が2億7千9百万円、仕掛品が1億1百万円、原材料及び貯蔵品が8千2百万円増加したことなどによります。

固定資産は、157億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産のその他に含まれるリース資産が2億4千3百万円減少した一方、投資有価証券が3億7千万円、退職給付に係る資産が2億9千1百万円、機械装置及び運搬具が1億1千2百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、365億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6千1百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、134億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千8百万円増加いたしました。これは、主として流動負債のその他に含まれる未払金が5億4千2百万円減少した一方、短期借入金が3億6千1百万円、流動負債のその他に含まれる前受金が3億4千1百万円増加したことなどによります。

固定負債は、34億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千3百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が1億円減少した一方、退職給付に係る負債が1億5千7百万円、繰延税金負債が1億3千8百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、168億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千1百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、196億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.2%から43.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,428	2,790
受取手形、売掛金及び契約資産	11,292	10,985
電子記録債権	2,759	2,362
商品及び製品	1,354	1,634
仕掛品	1,268	1,369
原材料及び貯蔵品	1,304	1,386
その他	256	246
流動資産合計	20,664	20,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,883	2,934
機械装置及び運搬具（純額）	4,228	4,340
土地	1,340	1,340
その他（純額）	1,428	1,139
有形固定資産合計	9,881	9,756
無形固定資産		
のれん	63	59
その他	427	438
無形固定資産合計	490	497
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	4,682
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	10	12
退職給付に係る資産	432	724
その他	90	95
投資その他の資産合計	4,848	5,517
固定資産合計	15,220	15,771
資産合計	35,885	36,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,885	3,128
短期借入金	7,183	7,544
未払法人税等	32	18
賞与引当金	330	112
その他	2,841	2,626
流動負債合計	13,273	13,431
固定負債		
長期借入金	1,850	1,750
繰延税金負債	1,373	1,511
退職給付に係る負債	—	157
その他	36	33
固定負債合計	3,259	3,452
負債合計	16,532	16,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	9,043	8,910
自己株式	△85	△85
株主資本合計	11,563	11,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,292	2,543
繰延ヘッジ損益	△12	△23
為替換算調整勘定	1,201	1,337
退職給付に係る調整累計額	474	442
その他の包括利益累計額合計	3,956	4,300
非支配株主持分	3,833	3,932
純資産合計	19,352	19,663
負債純資産合計	35,885	36,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,186	6,140
売上原価	5,104	5,299
売上総利益	1,081	840
販売費及び一般管理費	836	826
営業利益	245	13
営業外収益		
受取利息及び配当金	66	65
その他	26	22
営業外収益合計	93	88
営業外費用		
支払利息	36	40
その他	12	22
営業外費用合計	49	63
経常利益	289	38
特別利益		
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	24	—
税金等調整前四半期純利益	313	38
法人税、住民税及び事業税	6	2
法人税等調整額	55	36
法人税等合計	62	38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	251	△0
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	46	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益	205	31

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	251	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	251
繰延ヘッジ損益	4	△10
為替換算調整勘定	△376	266
退職給付に係る調整額	△26	△32
その他の包括利益合計	△437	475
四半期包括利益	△186	474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47	375
非支配株主に係る四半期包括利益	△138	98

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	375百万円	439百万円
のれんの償却額	3百万円	3百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,650	—	—	5,650	—	5,650	—	5,650
環境エンジニアリング・環境	—	70	—	70	—	70	—	70
環境エンジニアリング・機械	—	211	—	211	—	211	—	211
機能材料	—	—	190	190	—	190	—	190
ソーラー	—	22	—	22	—	22	—	22
その他	35	—	—	35	4	40	—	40
顧客との契約から生じる収益	5,686	305	190	6,182	4	6,186	—	6,186
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,686	305	190	6,182	4	6,186	—	6,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	—	1	△1	—
計	5,686	306	190	6,184	4	6,188	△1	6,186
セグメント利益又は損失(△)	332	△42	5	294	△1	293	△4	289

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4百万円に、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部
門にかかる費用が△74百万円、営業外収益82百万円、営業外費用が△12百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,423	—	—	5,423	—	5,423	—	5,423
環境エンジニアリング・環境	—	120	—	120	—	120	—	120
環境エンジニアリング・機械	—	244	—	244	—	244	—	244
機能材料	—	—	275	275	—	275	—	275
ソーラー	—	19	—	19	—	19	—	19
その他	48	—	—	48	6	55	—	55
顧客との契約から生じる収益	5,472	385	275	6,133	6	6,140	—	6,140
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,472	385	275	6,133	6	6,140	—	6,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	—	1	△1	—
計	5,472	386	275	6,134	6	6,141	△1	6,140
セグメント利益又は損失(△)	101	△80	31	52	△2	49	△11	38

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11百万円に、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部
門にかかる費用が△67百万円、営業外収益79百万円、営業外費用が△22百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。